

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

# 縣報 第五百十二號

明治卅九年一月十二日 和歌山縣

## ○公文

○和歌山縣令第一號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス  
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十九年一月十一日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 敬

一伊都郡端場村

東 島村鶴吉方裏手道路限

西 小林直吉方居宅地限

南 端場村ヨリ應其村大字伏原ニ通スル道路限

北 林六右衛門方前道路限

○和歌山縣令第二號

度量衡器臨檢及取締規則左ノ通り改正ス

明治三十九年一月十一日

和歌山縣知事

伯爵 清 榎 啟 家

度量衡器臨檢及取締規則

- 第一條 度量衡器ノ臨檢ハ定期臨檢、臨時臨檢ノ二種トシ定期臨檢ハ特ニ告示ヲ以テ指定スル期日、場所ニ於テ之ヲ行ヒ臨時臨檢ハ隨時營業又ハ使用ノ場所ニ就キテ之ヲ行フ
- 第二條 定期臨檢ヲ行フトキハ物件ノ賣買、授受、証明ヲ爲スニ供スル度量衡器ノ使用者ハ其度量衡器ヲ遲滞ナク指定ノ場所ニ差出スヘシ但シ止ムテ得ル事由アル場合ニ於テ其事由ヲ具シ當該官吏又ハ所轄警察官吏ニ届出テ其指示ヲ受ケルトキハ此限ニ在ラス
- 第三條 定期臨檢ニ合格シタル度量衡器ニハ臨檢済印ヲ付ス但シ小形又ハ硬質ノ器物ニシテ付印シ難キモノアルトキハ左記雛形ノ臨檢済印ヲ交付シ之ニ臨檢済印ヲ付ス

臨 檢 済 印				
年 號	形 狀	種 類	氏 名	所 有 者

縣報第五百十二號

明治三十九年一月十二日

第三種郵便物認可

二

臨檢済印	和歌山縣
------	------

臨檢済印ノ種類及雛形ハ毎年之ヲ告示ス

第四條 當該官吏ノ臨檢済票左ノ如シ

縦三寸

官 氏 名	和歌山縣
度量衡器臨檢主任之證	和歌山縣印
第 號	

第五條

度量衡器ノ取締ハ當該官吏、警察官吏又ハ市町村長ヲシテ之ヲ行ハシム

第六條

臨檢又ハ取締ヲ行フニ方リ當該官吏又ハ警察官吏ハ必要アリト認ムル場合ニ於テ

度量衡器ノ製作者、修繕者、販賣者又ハ使用者ニ對シ檢査ノ爲メ特ニ指定スル場所ニ其度量衡器ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第七條

物件ノ賣買、授受、証明ヲ爲ストキハ度量衡ノ名稱位ヲ用ユルト否トテ問ハス

度量衡器ニ類似スル効用ノ爲メ制規外ノ器物ヲ使用スヘカラス

第八條 構造ニ異状ヲ生シタル度量衡器ハ之ヲ販賣シ若クハ物件ノ賣買、授受、証明ノ爲ニ使用スヘカラス

第九條 物件ノ賣買、授受、証明ノ爲ニ使用スル量器又ハ衡器ハ左ノ規定ニ依ルヘシ

一、斗概ヲ要スヘキ物料ヲ量ルトキハ度量衡法施行令第一條ノ規定ニ依リ相當ノ斗概ヲ使用スヘシ

二、天秤、臺秤又ハ桿秤ノ鈞、皿、錘、増錘増錘臺ニシテ番號又ハ符號ノ表記アルモノハ之ト同一ノ番號又ハ符號ノ表記アル桿ニ附屬シテ使用スヘシ

三、木製桿秤ノ錘ニシテ番號又ハ符號ノ表記ナキモノハ之ニ表記ノ秤量ト同シ秤量ノ桿ニシテ定錘ノ文字ヲ表記セルモノ若クハ番號ノ表記ナキモノニ附屬シテ使用スヘシ

四、臺秤ノ増錘ニシテ番號ノ表記ナキモノハ之ニ表記ノ重量、掛量ノ百分ノ一ニ相當スルモノハ秤量ニ十六貫以上ノ臺秤ノ桿ニ其五十分ノ一ニ相當スルモノハ秤量三十六貫未滿ノ臺秤ノ桿ニシテ定錘ノ文字ヲ表記セルモノ若クハ番號ノ表記ナキモノニ附屬シテ使用スヘシ

五、天秤、桿秤ニシテ其臺アルモノ及臺秤ハ之ヲ水平ニ据付クヘシ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ之ヲ店舗其他物件ノ賣買、授受、証明ヲ爲スヘキ場所ニ置キ又ハ行商ノ際携帶スルコトヲ得ス

一、檢定ヲ受ケヌ又ハ檢定ノ效力ヲ失ヒタルモノ

二、構造ニ異状ヲ生シタルモノ

三、一定ノ分量ニ増減ヲ生スヘキ附着物アルモノ

前項ノ規定ハ度量衡器ノ製作者及ヒ修覆者ニ對シテ之ヲ適用セス

第十一條 物件ノ賣買、授受、証明ノ爲ニ供スル度量衡器ノ使用者ハ其度量衡器ノ種類、個數及氏名住所、職業ヲ様式第一號ニ依リ運帶ナク所轄市町村長ニ届出ヘシ

前項ノ届出事項ニ異動ヲ生シ又ハ他ノ市町村ニ轉住シタルトキハ即日届出ヘシ

第十二條 度量衡法施行細則第五十六條第三項ニ依リ修覆ノ許可ヲ受ケントスル場合ハ其願書ニ修覆セントスル度量衡器ノ種類、個數修覆ノ場所以及期間并ニ其運搬シ難キ事由ヲ記載スヘシ

第十三條 衡器ノ製作者、修覆者又ハ販賣者其工場若クハ營業所以外ニ於テ桿秤ノ取替及錘錘ニシテ金屬ニアラサルモノ、修覆ヲ爲サントスルトキハ其事由及修覆所ノ位置、修覆職工ノ氏名并ニ修覆料ヲ記シタル願書ヲ知事ニ差出し許可ヲ受クヘシ

第十四條 度量衡器ノ修覆（桿秤ノ取替及錘錘ニシテ金屬ニアラサ）若クハ加工ヲ爲シタル製作者又ハ修覆者ハ其ノ檢定ヲ受ケタル後ニアラサレハ之ヲ委託者ニ交付スルコトヲ得ス

第十五條 衡器ノ製作者、修覆者又ハ販賣者桿秤ノ取替及錘錘ニシテ金屬ニアラサルモノ、錘ノ修覆ヲ爲ス場合ハ左ノ各號ノ手續ニ依リ桿秤ヲ檢シ其一ニ該當スルトキハ之ヲ差在アルモノト認ムヘシ

一、桿秤ヲ秤梁ニ設置シ、錘ヲ直点ニ懸ケ、桿ノ水平ヲ得サルトキ若ハ睨ミノ一致セサルトキ

二、錘ヲ盛止ニ懸ケ其目盛ニ相當スル分銅ヲ皿ニ載セ(皿ナキモノハ鈎ニ懸ケ)桿ノ水平ヲ得サルトキ其最小目盛ノ二分ノ一ニ相當スル分銅ヲ増加又ハ減除スルモ尙ホ桿ノ水平ヲ保テサルトキ但シ最小目盛二厘又ハ二「センチグラム」未滿ナルトキハ錘絲ヲ其前後半目ノ距離ニ移動シテ分銅ノ用ニ代フルコトヲ得

三、前號ノ手續ニ於テ桿ノ水平ヲ保ツキ更ニ其最小目盛ニ相當スル分銅ヲ皿若クハ鈎ニ加ヘ桿ニ或動ヲ起サ、ルトキ但シ最小目盛二厘又ハ二「センチグラム」未滿ナルトキハ其一目ニ相當スル距離ニ錘絲ヲ移動シテ分銅ノ用ニ代フルコトヲ得

四、二段以上目盛アルモノハ其各盛出及盛止ニ漸次錘ヲ移シ盛出ニ於テハ第二號ヲ盛止ニ於テハ第二號及第三號ヲ適用スヘシ但シ十貫又ハ一「キログラム」ヲ超コルモノハ其盛止ニ代ヘ十貫又ハ一「キログラム」ニ於テ掛量ノ正否及重量ノ有無ヲ檢スルコトヲ得前項ニ依リ差狂アリト認メタル場合ニ於テ當廳ニ差出スヘキ届書ニハ其事由及桿秤ノ秤量、記號、番號並ニ所有者ノ住所氏名ヲ詳記スヘシ

第十六條 衡器ノ製作者、修覆者又ハ販賣者前條ノ修覆ヲ爲サントスル場合ニ於テ其桿秤カ檢定ノ效力ヲ失ヒタルモノ若クハ取締錘絲以外ノ部分ニ異狀アルモノナルトキハ其取締錘絲、修覆ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 度量衡器ノ製作者、修覆者又ハ販賣者自己ノ營業ニ屬スル修覆ノ委託ヲ受ケ其

修覆ヲ爲レ得サルモノト認メ委託者ニ還付シタルトキハ第十五條第二項ニ準シ直ニ當廳ニ届出ヘシ

第十八條 他管下ノ度量衡器製作者、修覆者又ハ輸入販賣者ニシテ度量衡法施行細則第十三條第二項又ハ第五十六條第三項ニ依リ本縣知事ニ差出スヘキ願書ニハ其目的タル度量衡器ノ種類、形狀及物質ニ對シ免許ヲ受ケタルコトヲ證明シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ

第十九條 度量衡器ノ製作者、修覆者又ハ販賣者自ラ其業務ニ從事セサルトキ又ハ營業所ニ不在ノトキハ代理人ヲ定メ置クヘシ

第二十條 度量衡器ノ製作者、修覆者又ハ販賣者ハ様式第二號ニ依リ其營業ニ該當スル帳簿ヲ備ヘ營業ノ事項ヲ明確ニ記載スヘシ

第二十一條 度量衡器ノ製作者、修覆者又ハ販賣者ハ様式第三號ニ依リ前年四月一日ヨリ其年三月三十一日ニ至ル一箇年間ノ營業報告書ヲ作成シ毎年四月十五日限リ當廳ニ差出スヘシ其營業ヲ廢止シタルトキ又ハ營業免許ノ消滅シタルトキハ直ニ之ヲ差出スヘシ

第二十二條 第七條、第八條、第十三條、第十四條又ハ第十六條ニ違背シタル者ハ五圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 第二條又ハ第九條ニ違背シタル者ハ五圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料又ハ拘留ニ處ス

一、第六條ニ依リ指定ノ場所ニ度量衡器ヲ提出スヘキコトヲ命セラレ直ニ其請書ヲ差出サ、ル者又ハ指定ノ期限内ニ其提出ヲ爲サ、ル者













合 計	鐘	
	增	鐘

右之通ニ候也

住 所

度量衡器(製作)(修理)(販賣)業 氏

名 印

年 月 日  
知 事 宛

備 考

製作、修理、又ハ輸入ハ此様式ニ準シ各別紙トシ、製作ハ仕入ノ欄ヲ製作ト改メ、修理ハ各種別ニ對スル修理個數及修理料ヲ掲記シ、輸入ハ仕入ノ欄ヲ輸入ト改ムヘシ  
二種以上(尺トノートルノ類)ノ目盛ヲ施シタルモノハ之ヲ一種ノモノト區別シ其數字ノ頭ニ種類ノ名稱ヲ記載スヘシ

修 覆 高	修 覆 別	取 諸 ナ 修 覆 シ タ ル モ ノ	鐘 絲 ナ 修 覆 シ タ ル モ ノ	取 諸 及 鐘 絲 ナ 修 覆 シ タ ル モ ノ	合 計	右之通ニ候也	年 月 日 知 事 宛	住 所 度量衡器(製作)(修理)(販賣)業 氏	名 印

桿秤ノ取諸及鐘絲ニシテ金屬ニアラサルモノ、修理營業報告 自明治何年四月一日 至明治何年三月卅一日

○和歌山縣告示第三號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除セシ旨農商務大臣ヨリ通達アリ  
 明治三十九年一月九日 和歌山縣知事 伯爵清 榎家 啟

全	全	全	全	全	紀伊	國
全	東牟婁	日高	那賀	全	海草	郡
三輪崎	高池町	切目川	東野上	全	山口	町村
三輪崎	高池	櫻川	小畑	北別所	落合	大字
新町	元池	串崎	宮山	入王寺	南山	字
						地番
三五	七三	五九	百三十一	一三三	一六六	面積
、〇九七	、〇六八	、一五二	、一〇二	、二五二	、四三	所有者
全	全	全	全	全	國	

縣報第五百十二號 明治三十九年一月十二日 第三種郵便物認可

全	全	全	全
全	東牟婁	全	西牟婁
全	七川	全	大都河
全	添野川	小河内	大鏡
蒸野向	中ノ平	郷藏	宮ノ平
一、四七	一、一四九	五三七	二二七
全全	全全	全全	臺振 實側
、三三三ノ内	、三三〇ノ内	、五八六ノ内	、〇九八ノ内
、〇七九	、〇八三	、〇九二	、一三〇
全	全	全	全

○和歌山縣告示第四號

縣下伊都郡端場村ニ於テ本月八日和種牡牛一頭炭疽ニ罹リ全日斃死セリ  
 明治三十九年一月十一日 和歌山縣知事 伯爵清 榎家 啟

○村長助役ノ異動

那賀郡田中村長 橋本清三郎  
 日高郡丹生村助役 西川友賢  
 三十九年一月九日認可ス

○觀測

明治三十九年一月七日ヨリ三日間當地氣象概況

可認物便郵三第日八月五年三十三治明

種類	一月七日		一月八日		一月九日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六一耗三	七六七耗六	七六四耗〇	七六九耗九	七六三耗三	七七一耗二
平均氣溫	九度七	四度三	六度四	四度〇	五度一	四度八
最高氣溫	一二度八	八度〇	一〇度三	一〇度五	一二度七	一二度二
最低氣溫	六度五	〇度三	一度二	冰点下一度四	〇度二	冰点下〇度四
最多風向	北西	東	北東	東北東	北東	東
平均風力	三米五	二米七	二米三	二米五	二米〇	二米五
天氣	晴	晴	晴	晴	晴	晴
雨雪量	1	1	1	1	1	1
記事現象	午前九時 三十分海 上風雨ノ	午后八時 五十一分 四十六秒		午前濃霜	午前濃霜	午前濃霜 夕刻海上 風雨ノ警

縣報第五百十二號 明治三十九年一月十二日 第三種郵便物認可 一二終

警戒少解 除ス	ロリ四十 九秒間緩 慢ナル微 震(方向 ハ南々西 ノ北々東 ノ)	戒到省 夜間月暈
	夜間結霜	

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十九年一月十一日印刷  
明治三十九年一月十二日發行

〔寄致代價〕  
〔金參圓〕

和歌山縣

和歌山市久保町(丁目)一番地  
印刷人 山本友一  
印刷所 和歌山市久保町(丁目)二十四番地  
丸天印刷部